

令和5年度 第2回学校運営協議会議事録

- 1 日時 令和5年9月28日(木)午後1時10分から3時10分まで
- 2 場所 静岡南部特別支援学校 校長室
NPO法人 ひまわり事業団(会議室)
- 3 出席者
 - (1) 学校運営協議会委員
 - ・地域住民 ・NPO法人ひまわり 副理事長
 - ・静岡済生会療育センター令和 療育支援課 ・本校PTA会長 *欠席3名
 - (2) 校内教職員
 - ・校長 ・教頭 ・事務長 ・部主事 ・訪問主任
 - ・特別支援教育コーディネーター ・教務主任
 - (3) 静岡視覚特別支援学校教職員
 - ・副校長
- 4 校長挨拶

本校の教育目標具現化の柱「つながり合う(連携)」として、静岡視覚特別支援学校との共同生活が始まったことが挙げられる。これからさらに連携を強化していきたい。

また、今年度は本校の近くにあるひまわり事業団とのつながりを深め、新たなことに挑戦したいと考えている。
- 5 静岡視覚特別支援学校 学校紹介・参観(静岡視覚特別支援学校副校長案内)

学校の歴史、視覚障害の特性や配慮、教育活動について紹介された。

学習の様子や施設の特徴について等の説明を受けながら校内参観をした。
- 6 ひまわり事業団について(NPO法人ひまわり 副理事長)
 - (1) ひまわり事業団の紹介

理念「どんなに重い障害があっても地域で共に生きる社会を目指して」を掲げている。

事業団の歩み・事業について説明された。
 - (2) ひまわり事業団参観

生活介護「さにい」:余暇活動(ボッチャ)

就労継続支援B型「それいゆ」:作業
(委託された部品の組み立て、青ネギの計量と袋詰め)

アート活動による作品
- 7 ひまわり事業団との連携について

ひまわり事業団と連携してできることについてグループ協議を行った。

意見の例

 - ・文化祭や体育祭等の場を設定し、活動を共有する。
 - ・共同でのアート活動に取り組む。
 - ・地域人々や大学生との場の共有をする。等

今後の学校運営協議会でさらに検討をしていく。